

2024年05月30日

心原性ショック合併急性冠症候群に対する院内プロトコルを用いた

補助循環の治療効果

◆研究の目的と概要◆

血圧低下を伴う心原性ショックを合併した急性冠症候群の病態はその生命予後の改善が残された課題となっています。近年経皮的循環補助用ポンプカテーテルであるインペラを使用することでその生命予後が改善したという報告がされています。当院では院内プロトコルを作成し一定の基準を満たした患者さんに対しインペラを適正に使用することを行っています。本研究では院内プロトコルを導入した前後で、インペラを用いる心原性ショック合併急性冠症候群の患者さんの生命予後が改善したかどうかを調査します。必要により院内プロトコルを改訂し、さらなる臨床的予後改善を目指すことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年2月から、2022年9月の間に、心原性ショック合併急性冠症候群に対しインペラを併用して経皮的冠動脈インターベンションを行った方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別・合併症・併存症、内服薬、冠動脈インターベンション/機械的循環補助情報（施行日、病変形態、ステント・手技情報）、フォローアップ情報（期間、臨床的予後）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
循環器内科 研究責任者 多田 毅

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明